SONY

3-042-774-**03**(1)

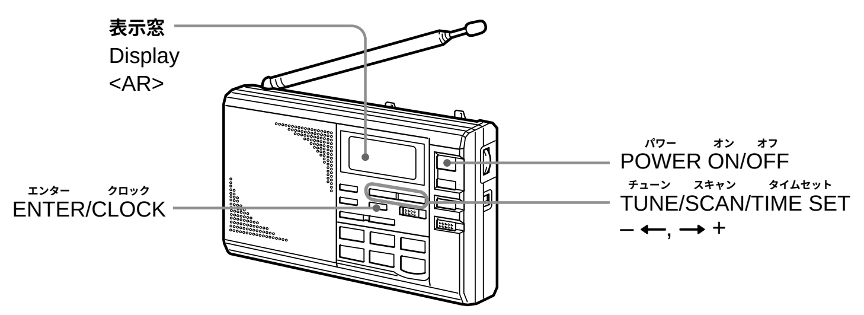
FM Stereo/SW/MW/LW PLL Synthesized Receiver

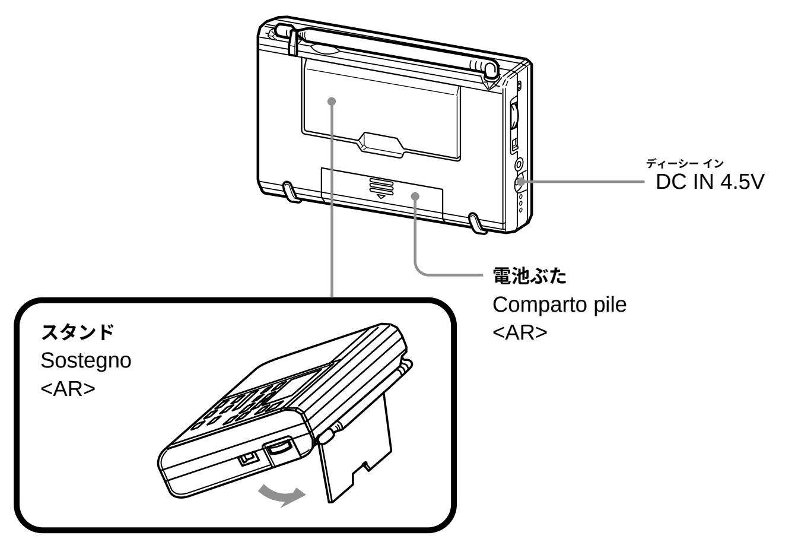
取扱説明書
Istruzioni per l'uso
<AR>

ICF-SW35

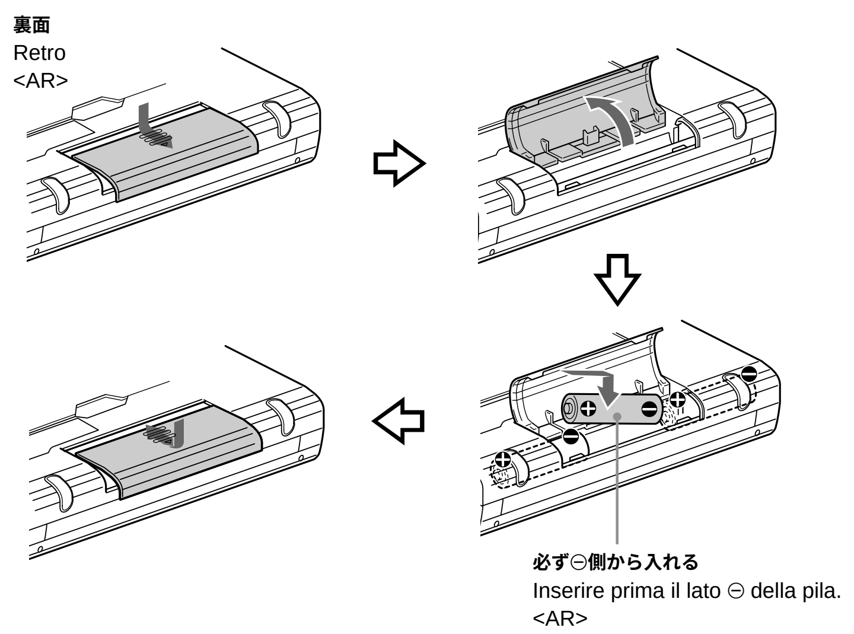
Sony Corporation © 1999 Printed in China

http://www.sony.net/





A



日本語

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

主な特長

- FM・SW(短波)・MW(中波)・LW(長波)放送と、世界の電波を広範囲に受信できるポータブルレシーバーです。
- PLL(Phase Locked Loop)シンセサイザー方式を採用。
- 5つのMEMORY PRESET PAGEボタンごとに10局、合計50局の放送局を記憶させることのできるプリセット機能付き。
- メモリープリセットページ内に記憶された放送局をすばやく探し出すメモリースキャン機能付き。
- 2種類の独立した時刻が設定できるスタンバイ機能(2つのスタンバイメモリー)付き。
- 自動的に放送局を探し出すオートスキャン機能付き。
- 選択した時間が経過すると自動的に電源が切れるスリープ機能付き。60分、45分、30分、15分の選択ができます。
- 時計機能付き。
- ステレオイヤーレシーバー(別売り)でFMステレオが楽しめます。

電源について

乾電池で使うには(図A)

1. **電池入れのふたを開ける。**
2. **正しい向きで、単3形乾電池を3本入れる。**
   初めて乾電池を入れたときは、表示窓に「0：00」が点滅します。
   点滅を止めるには、時計を合わせます。
   (「時計を合わせる」参照)

乾電池の持続時間 (JEITA＊)

使用乾電池	ソニー単3形(R6)乾電池	ソニー単3形(LR6)アルカリ乾電池
FM受信時	約17時間	約46時間
SW受信時	約12時間	約33時間
MW/LW受信時	約12時間	約33時間

＊ JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。実際の電池持続時間は、使用する機器の状況により変動する可能性があります。

乾電池の交換時期
乾電池が消耗すると、表示窓に「⊏⊐」が点滅し、音が小さくなったりひずんだりします。乾電池が完全に消耗すると、「⊏⊐」が点灯し、ラジオの電源が切れます。この場合は乾電池を3本とも新しいものと交換してください。

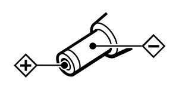
乾電池を交換するときは
電源をいったん切り、60秒以内に交換をすませてください。60秒以上経過すると、設定した時刻やスタンバイ時刻は消えてしまいます。その場合は、もう一度時刻合わせを行ってください。プリセットした放送局は消えません。
交換後も「⊏⊐」が点灯したままですが、ON/OFFボタンを押して電源を入れると「⊏⊐」が消えます。

その他の電源で使うには

本機のDC IN4.5V(外部電源)端子に外部電源機器をつなぐと、乾電池が入っていても、自動的に外部電源に切り換わります。

コンセント(家庭用電源)で使うには
別売りのACパワーアダプターをDC IN4.5V端子につなぎます。アダプターはDC IN4.5V端子とコンセントにしっかり差し込んでください。

ご注意
- 外部電源で本機を使うときも、内蔵のマイコンのバックアップ用として乾電池を入れておいてください。この場合も乾電池は消耗しますので、約1年を目安に交換してください。
- 外部電源のプラグを抜き差しするときは、本機の電源を切ってから行ってください。電源を入れたまま行うと、電源が切れて「⊏⊐」表示が出ることがあります。この場合、もう一度本機の電源を入れると表示は消えます。
- 乾電池を使うときは、必ずACパワーアダプターをコンセントから抜いたあと、本機のDC IN4.5V端子からプラグを抜いてください。DC IN4.5V端子に外部電源のプラグがつながっていると乾電池でも動作しません。
- この製品には、別売りのACパワーアダプター＊(極性統一形プラグ：JEITA規格)をご使用ください。指定以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。



極性統一形プラグ

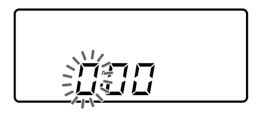
＊別売りのACパワーアダプターについて詳しくは「主な仕様」をご覧ください。

時計を合わせる

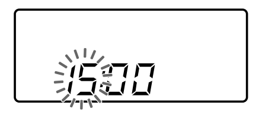
時計合わせは、ラジオの電源を切って行ってください。
初めて電池を入れたときや、時計がリセットされたときは、表示窓に「0：00」が点滅しますので、時計を合わせてください。
時計は24時間表示です。
　0:00=真夜中
　12:00=正午

時刻を合わせる

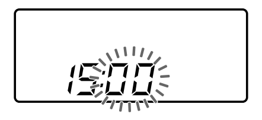
1. **ENTER/CLOCK(入力/時刻)ボタンを「ピッ」と音がするまで押す。**



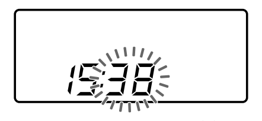
2. **TUNE/SCAN/TIME SET(選局/スキャン/時刻設定)ボタンの−←または→＋を押して「時」を合わせる。**
   →＋を押すと数字が進み、−←を押すと数字が戻ります。ボタンを押し続けると連続して変わります。「0」になったときは「ピピッ」と音がします。



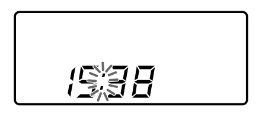
3. **ENTER/CLOCKボタンを「ピッ」と音がするまで押す。**



4. **−←または→＋を押して「分」を合わせる。**
   ボタンを押し続けると連続して変わります。「00」になったときは「ピピッ」と音がします。



5. **ENTER/CLOCKボタンを「ピピッ」と音がするまで押す。**
   「：」が点滅し、時計が動き出します。



秒まで正確に合わせるには

電話の時報サービス(117)をご利用になると便利です。時刻を合わせておき、時報と同時にENTER/CLOCKボタンを押します。

ご注意
操作の途中で約1分間何も操作をしないと、元の状態に戻ります。その場合は、手順1から操作し直してください。

時計合わせを途中で止めたいときは

ON/OFFボタンを押して、一度ラジオの電源を入れます。その後、再びON/OFFボタンを押して、ラジオの電源を切ると元の状態に戻ります。

故障とお考えになる前に

本機の調子が悪いとすぐ故障と考えがちですが、修理に出す前にもう一度取扱説明書をお読みになり、次のような点検をしてください。

音がまったく聞こえない
- VOLつまみが最小になっている。
- ヘッドホンが差し込まれている。
- 乾電池の入れかたが間違っている。

POWERボタンを押しても電源が入らない
- 乾電池の入れかたが間違っている。
- 乾電池が消耗している(「⊏⊐」が点滅または点灯している)。
- ACパワーアダプターがはずれている。

雑音が入る、音が悪い、受信できない
- 乾電池が消耗している(「⊏⊐」が点滅している)。
- 選局やアンテナの調節が充分でない。
- 電波が弱い。→建物や乗り物の中では、なるべく窓際で聞く。
- ATTスイッチがONになっている。→OFFに切り替える、またはATTコントロールつまみを調節する。

放送局のプリセットができない
- プリセットのしかたが間違っている。
  →ENTER/CLOCKボタンを2秒以上押してから、希望のMEMORY PRESET PAGEボタンを押してプリセット番号を選ぶ。

プリセットした放送局が受信できない
- VOLつまみが最小になっている。
- プリセットした放送局のページ番号やプリセット番号が間違っている。
- 誤ってプリセットを消去した。→プリセットし直す。

オートスキャンができない
- NORMAL/FINEスイッチがFINEになっている。→NORMALにする。

メモリースキャンができない
- MEMORY PRESET PAGEボタンを押して、プリセット選局していない。→希望のMEMORY PRESET PAGEボタンを押してからMEMORY SCANボタンを押す。
- スキャンするページに一つしかプリセットされていない。

スキャンが止まらない
- ATTスイッチがONになっている。→OFFにするか、ATTコントロールつまみを調節する。

予約した時刻にラジオが鳴らない
- VOLつまみが最小になっている。
- 「STANDBY」,「a」または「b」が表示されていない。
- ホールド機能が働いている。
- 電池交換に60秒以上かかった。→予約が消えている。予約をやり直す。

ボタン操作を受け付けない
- ホールド機能が働いている(「○━」が点灯している)。→HOLDスイッチを矢印と反対の方向にずらし、「○━」表示を消す。

表示窓の文字が薄く見にくい
- 極端に暑いところ、寒いところ、湿気の多いところで使っている。

表示窓に表示が出ない
- 乾電池の入れかたが間違っている。
- 乾電池が消耗している。

使用上のご注意

取り扱いについて
- 次のような場所には置かないでください。
  - 極端に温度が高いところ(40℃以上)や低いところ(0℃以下)。
    温度が高いところでは、数字の表示が「8」に見えることがあります。温度が低いところでは表示文字の変わりかたがゆっくりになることがあります(常温に戻せば、元に戻ります)。
  - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 風呂場など湿気の多いところ。
  - 窓を閉め切った自動車内(特に夏季)。
  - ほこりの多いところ。
- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因となります。
- 本機の内部に液体や異物を入れないでください。特にDC IN 4.5V端子に水や異物が入ると故障の原因となります。
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンは表面をいためますので使わないでください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカー内部の磁石の影響でカードの磁気が変化し、使えなくなることがありますのでご注意ください。

万一故障した場合は、内部をあけずに、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

サービス依頼について
修理のために本体をお預けになると、修理内容により、プリセット局のメモリーが消えてしまう場合があります。重要なデータは控えを取っておくことをお勧めします。

特定の相手方に対して行われる無線通信を傍受して、その存在または内容を漏らしたり窃用したりすることは、電波法で禁止されています。

主な仕様

回路方式	FM：スーパーヘテロダイン方式 LW,MW,SW：デュアルコンバージョンスーパーヘテロダイン方式
受信周波数	FM：76～108MHz 87.50～108MHz＊1 SW：2,250～26,100kHz 3,850～26,100kHz＊2 MW：530～1,710kHz 530～1,620kHz＊1 LW：150～285kHz
スピーカー	直径　約66mm、8Ω　1個
実用最大出力	240mW(JEITA＊3/DC)
出力端子	∩(ヘッドホン)端子(ø3.5mmステレオミニジャック) 16Ω 1個
電源	DC4.5V 単3形乾電池 3本
外部電源端子	DC IN4.5V
最大外形寸法	約168×106×35mm(幅/高さ/奥行き)(JEITA)
質量	約405g(乾電池含む)

付属品

ソニー単3形乾電池(3)＊4
キャリングケース(1)
コンパクトアンテナ(1)＊4
ウェーブハンドブック(1)＊4
ハウトゥキャッチザウェーブ(1)＊4
取扱説明書(1)
保証書(1)＊4
ソニーご相談窓口のご案内(1)＊4

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

別売りアクセサリー

ACパワーアダプター
　AC-E45M(日本国内用)
　AC-E45HG(海外用)＊5
SW/MW/LWワイドレンジアンテナ
　AN-1、AN-102
SW用アクティブアンテナ
　AN-LP1

＊1 イタリア、サウジアラビア、マレーシアのみ
＊2 イタリアのみ
＊3 JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。
＊4 日本国内向け製品にのみ付属します。
＊5 地域により電源電圧が異なりますので、ACパワーアダプターはお使いになる国に合ったものをお買い求めください。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として
「テクニカルインフォメーションセンター」
を開設しています。
お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談は下記までお問い合せください。

テクニカルインフォメーションセンター
電話：048-794-5194
受付時間：月～金　午前9時から午後6時まで
(祝日、年末年始、弊社休日を除く)
ご相談になるときは次のことをお知らせください。
- 型名
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

http://www.sony.co.jp/

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35
お問い合わせはお客様ご相談センターへ
● ナビダイヤル……………… 0570-00-3311
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)
● 携帯電話・PHSでのご利用は…… 03-5448-3311
● Fax ……………………………… 0466-31-2595
受付時間：
月～金
9:00～20:00
土・日・祝日
9:00～17:00

Italiano

Si dichiara che l'apparecchio è stato fabbricato in conformità all'art. 2, Comma 1 del D.M. 28. 08. 1995 n. 548.

ATTENZIONE

Per evitare il rischio di incendi o scosse elettriche, non esporre l'apparecchio alla pioggia o all'umidità.

Per evitare scosse elettriche, non aprire il rivestimento. Per riparazioni rivolgersi esclusivamente a personale qualificato.

Prima di cominciare

Grazie per aver scelto il ricevitore a bande mondiali Sony! Il ricevitore a bande mondiali vi fornirà numerose ore di funzionamento affidabile e piacere di ascolto.
Vi preghiamo di leggere attentamente le istruzioni prima di usare il ricevitore a bande mondiali e di tenerle a portata di mano per riferimenti futuri.

Caratteristiche

- Ricevitore portatile FM stereo / SW / MW / LW con copertura bande mondiale
- Sistema sintetizzatore PLL (anello ad aggancio di fase)
- Possibilità di preselezionare fino a 10 stazioni in ciascuna pagina di preselezione in memoria per una sintonia rapida (50 stazioni in totale)
- Sintonia a scorrimento memoria delle stazioni memorizzate sulla pagina di preselezione in memoria
- Funzione di timer di attesa per ricevere la trasmissione preferita all'ora desiderata
- Sintonia a scorrimento per scorrere automaticamente le stazioni
- Timer di spegnimento ritardato che spegne automaticamente la radio dopo che è trascorso il tempo impostato (60, 45, 30 o 15 minuti)
- Funzione di orologio
- Ricezione FM stereo tramite cuffie stereo (non in dotazione)

Scelta della fonte di alimentazione

Inserimento delle pile (vedere la fig. A)

1 Aprire il coperchio del comparto pile sul retro dell'apparecchio.

2 Inserire tre pile tipo R6 (formato AA) con i poli + e – orientati correttamente e quindi chiudere il coperchio.

"0:00" lampeggia sul display dopo che si sono inserite le pile per la prima volta. Per far cessare il lampeggiamento, impostare l'orologio. (Vedere "Impostazione dell'orologio".)

Durata delle pile (ore circa) (JEITA*)

	R6 (formato AA) Sony	Alcaline LR6 (formato AA) Sony
Ricezione FM	17	46
Ricezione SW	12	33
Ricezione MW/LW	12	33

* Misurato secondo i criteri JEITA (Japan Electronics and Information Technology Industries Association). La durata effettiva della pila può variare a seconda delle circostanze di impiego dell'apparecchio.

Quando sostituire le pile

Quando le pile si indeboliscono, "⊏⊐" lampeggia sul display. Quando le pile sono completamente scariche, "⊏⊐" rimane illuminato sul display e l'apparecchio si spegne.
Quando "⊏⊐" si illumina, sostituire tutte le pile con altre nuove.

Quando si sostituiscono le pile

Sostituire le pile entro 60 secondi ad apparecchio spento. Se non si esegue alcuna operazione per 60 secondi, le impostazioni di orologio e attesa sono cancellate. Le stazioni preselezionate sono però conservate.
Dopo aver sostituito le pile, premere ON / OFF per far scomparire l'indicazione.

Uso di altre fonti di alimentazione

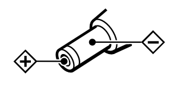
Le batterie interne sono automaticamente escluse quando il trasformatore CA è collegato alla presa DC IN 4,5 V come fonte di alimentazione esterna.

Corrente domestica

Collegare saldamente il trasformatore CA Sony (non in dotazione) alla presa DC IN 4.5 V e collegarlo ad una presa di corrente.

Note sulle fonti di alimentazione esterne

- Quando si alimenta l'apparecchio con una fonte di alimentazione esterna, non estrarre le pile. Queste pile servono a conservare le impostazioni memorizzate. Poiché le pile si scaricano anche in questo caso, consigliamo di sostituirle ogni anno circa.
- Prima di collegare e scollegare la spina della fonte di alimentazione esterna, assicurarsi di spegnere la radio. Altrimenti può essere visualizzato "⊏⊐". In questo caso, accendere la radio per far scomparire "⊏⊐".
- Quando si alimenta l'apparecchio con le pile interne, scollegare il trasformatore CA dalla presa di corrente e dalla presa DC IN 4.5 V. Assicurarsi che la spina della fonte di alimentazione esterna sia scollegata prima di usare l'apparecchio.
- Usare solo il trasformatore CA* Sony consigliato. La polarità delle spine dei prodotti di altre marche può essere diversa. Se non si usa il trasformatore CA consigliato, esiste il rischio di causare guasti all'apparecchio.



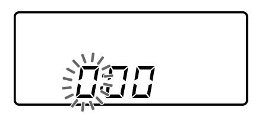
* Per dettagli sul trasformatore CA opzionale, vedere "Caratteristiche tecniche".

Impostazione dell'orologio

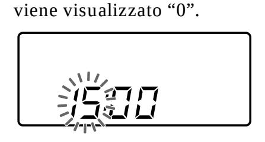
Impostare l'ora a radio spenta.
Impostare l'ora dopo aver inserito le pile per la prima volta o dopo che l'impostazione dell'orologio è stata cancellata. A questo punto "0:00" lampeggia.
L'orologio impiega il ciclo di 24 ore.
　"0:00" = mezzanotte
　"12:00" = mezzogiorno

Impostazione dell'orologio

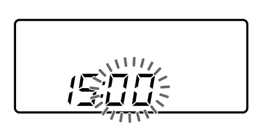
1 Tenere premuto ENTER / CLOCK fino a sentire un segnale acustico.
L'indicazione delle ore inizia a lampeggiare.



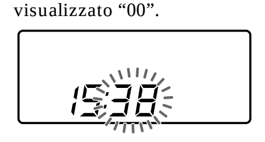
2 Premere – ← o → + sotto TUNE / SCAN / TIME SET per visualizzare l'ora corretta.
La cifra delle ore aumenta quando si preme → + e diminuisce quando si preme – ←. Per aumentare o diminuire rapidamente, tenere premuto – ← o → +.
Si sente un doppio segnale acustico quando viene visualizzato "0".



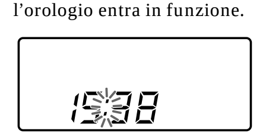
3 Tenere di nuovo premuto ENTER / CLOCK fino a sentire un segnale acustico.



4 Premere – ← o → + per visualizzare i minuti corretti.
Per aumentare o diminuire rapidamente i minuti, tenere premuto – ← o → +. Si sente un doppio segnale acustico quando viene visualizzato "00".



5 Tenere premuto ENTER / CLOCK fino a sentire un doppio segnale acustico.
I due punti ":" iniziano a lampeggiare e l'orologio entra in funzione.



Nota

Se non si esegue alcuna operazione per un minuto, l'impostazione dell'orologio viene annullata e l'apparecchio ritorna al modo precedente. In questo caso, ripetere il procedimento dal punto 1 per completare l'impostazione dell'orologio.

Per rinunciare all'impostazione dell'orologio

Premere ON / OFF per accendere la radio e quindi spegnerla. L'apparecchio ritorna al modo precedente.

Soluzione di problemi

Se un problema dovesse rimanere insoluto anche dopo che si sono eseguiti questi controlli, consultare il proprio rivenditore Sony.

Non viene emesso alcun suono.

- VOL (volume) è abbassato completamente.
- Sono collegate le cuffie stereo.
- Le pile sono inserite con i poli + e – orientati erroneamente.

La radio si spegne, anche se si preme POWER.

- Le pile sono inserite con i poli + e – orientati erroneamente.
- Le pile sono scariche ("⊏⊐" lampeggia o è illuminato).
- Il trasformatore CA è scollegato.

La qualità sonora è scadente o la ricezione è disturbata o impossibile.

- Pile deboli ("⊏⊐" lampeggia).
- La sintonia e l'orientamento dell'antenna devono essere corretti.
- Il segnale radio è debole. Ascoltare la radio vicino ad una finestra quando si ci trova all'interno di veicoli o edifici.
- L'interruttore ATT è regolato su ON. Regolarlo su OFF o regolare il comando ATT.

Non è possibile memorizzare le stazioni.

- Premere ENTER / CLOCK per almeno due secondi e premere la MEMORY PRESET PAGE desiderata per selezionare il numero di preselezione.

Non è possibile ricevere la stazione preselezionata durante la sintonia preselezionata.

- VOL (volume) è abbassato completamente.
- Il numero selezionato per la stazione preselezionata non è corretto. Selezionare il numero corretto assegnato alla stazione preselezionata desiderata.
- Le stazioni preselezionate sono state cancellate dalla memoria. Memorizzare di nuovo la stazione.

La sintonia a scorrimento non funziona.

- L'interruttore NORMAL / FINE è regolato su FINE. Regolarlo su NORMAL.

La sintonia a scorrimento memoria non funziona.

- Non si è selezionato un numero di pagina premendo MEMORY PRESET PAGE. Premere la MEMORY PRESET PAGE desiderata, quindi premere MEMORY SCAN.
- La pagina scorsa contiene una sola stazione preselezionata.

Lo scorrimento non si ferma.

- L'interruttore ATT è regolato su ON. Regolarlo su OFF o regolare il comando ATT.

La radio non si accende quando viene raggiunta l'ora di attesa fissata.

- VOL (volume) è abbassato completamente.
- "STANDBY", "a" o "b" non è visualizzato.
- È attivata la funzione di blocco.
- L'ora di attesa impostata è stata cancellata dalla memoria perché le pile non sono state sostituite entro un minuto da quando sono state rimosse dall'apparecchio. Memorizzare di nuovo l'ora di attesa.

I tasti e i comandi non funzionano.

- È attivata la funzione di blocco e "○━" è illuminato sul display. Spostare HOLD verso sinistra fino a che "○━" scompare dal display.

Il display è fioco.

- L'apparecchio è usato a temperature estremamente basse o alte o in un luogo con umidità eccessiva.

Il display non visualizza alcuna indicazione.

- Le pile sono inserite con i poli + e – orientati erroneamente.
- Le pile si sono scaricate.

Precauzioni

- Alimentare l'apparecchio solo a 4,5 V CC. Per il funzionamento a pile, usare tre pile tipo R6 (formato AA). Per il funzionamento a CA, usare solo il trasformatore CA consigliato.
- L'apparecchio non è scollegato dalla fonte di alimentazione CA (corrente di rete) fintanto che è collegato alla presa di corrente, anche se l'apparecchio stesso è stato spento.
- Usare l'apparecchio nella gamma di temperature da 0 °C a 40 °C. Se viene usato a temperature al di fuori di questa gamma, possono apparire visualizzazioni anomale. Se viene usato a temperature inferiori a questa gamma, la visualizzazione può cambiare molto lentamente. Queste anomalie scompaiono e l'apparecchio non subisce danni quando esso viene usato nella gamma di temperature consigliata.
- Non lasciare l'apparecchio nei pressi di fonti di calore o in luoghi esposti a luce solare diretta, sabbia, polvere eccessiva o scosse meccaniche.
- La piastrina indicante la tensione operativa, ecc. si trova all'esterno sul retro.
- Se oggetti o liquidi penetrano nell'apparecchio, scollegare il trasformatore CA ed estrarre le pile e far controllare l'apparecchio da personale specializzato prima di usarlo ulteriormente. Assicurarsi che nessun liquido o oggetto estraneo penetri nella presa DC IN 4.5 V di questo apparecchio. Questo pottebbe causare problemi di funzionamento.
- Poichè il diffusore impiega un forte magnete, tenere carte di credito personali, ecc. a codificazione magnetica lontane dall'apparecchio.
- Se il rivestimento si sporca, pulirlo con un panno morbido inumidito con una blanda soluzione detergente. Non usare mai detergenti abrasivi o solventi chimici, perché potrebbero deformare il rivestimento.
- All'interno di veicoli o edifici, la ricezione radio può essere difficoltosa o soggetta a interferenze. Provare ad ascoltare vicino ad una finestra.

Assistenza e riparazioni

Se si spedisce l'apparecchio per assistenza e riparazioni, annotarsi le impostazioni memorizzate importanti. Queste impostazioni sono a volte cancellate, a seconda del tipo di riparazioni necessarie.

In caso di interrogativi o problemi riguardanti l'apparecchio, consultare il proprio rivenditore Sony.

Caratteristiche tecniche

Sistema circuiti
FM: Super eterodino
LW / MW / SW: Super eterodino a doppia conversione

Campo di frequenza[*1]
FM: 76,00-108,00 MHz
　87,50-108,00 MHz[*2]
SW: 2 250-26 100 kHz
　3 850-26 100 kHz[*3]
MW: 530-1 710 kHz
　530-1 620 kHz[*2]
LW: 150-285 kHz

Diffusore
Circa 66 mm di diametro, 8 Ω

Uscita massima
240 mW (al 10% di distorsione armonica)

Uscita
Presa ∩ (cuffie) (minipresa stereo ø3,5 mm)
16 Ω

Alimentazione
4.5 V CC, tre pile tipo R6 (formato AA)

Fonte di alimentazione esterna
DC IN 4.5 V

Dimensioni
Circa 168 × 106 × 35 mm (L × A × P), incluse le parti sporgenti

Massa
Circa 405 g, incluse le pile

Accessori in dotazione
Custodia di trasporto (1)
Guida alle onde corte (1)

Accessori opzionali
Trasformatore CA
　AC-E45HG
Antenna SW / MW / LW a gamma ampia
　AN-1, AN-102
Antenna SW attiva
　AN-LP1

Disegno e caratteristiche tecniche sono soggetti a modifiche senza preavviso.

La tensione operativa del trasformatore CA varia a seconda del paese in cui è venduto. Acquistare il trasformatore CA nel paese dove si intende farne uso.

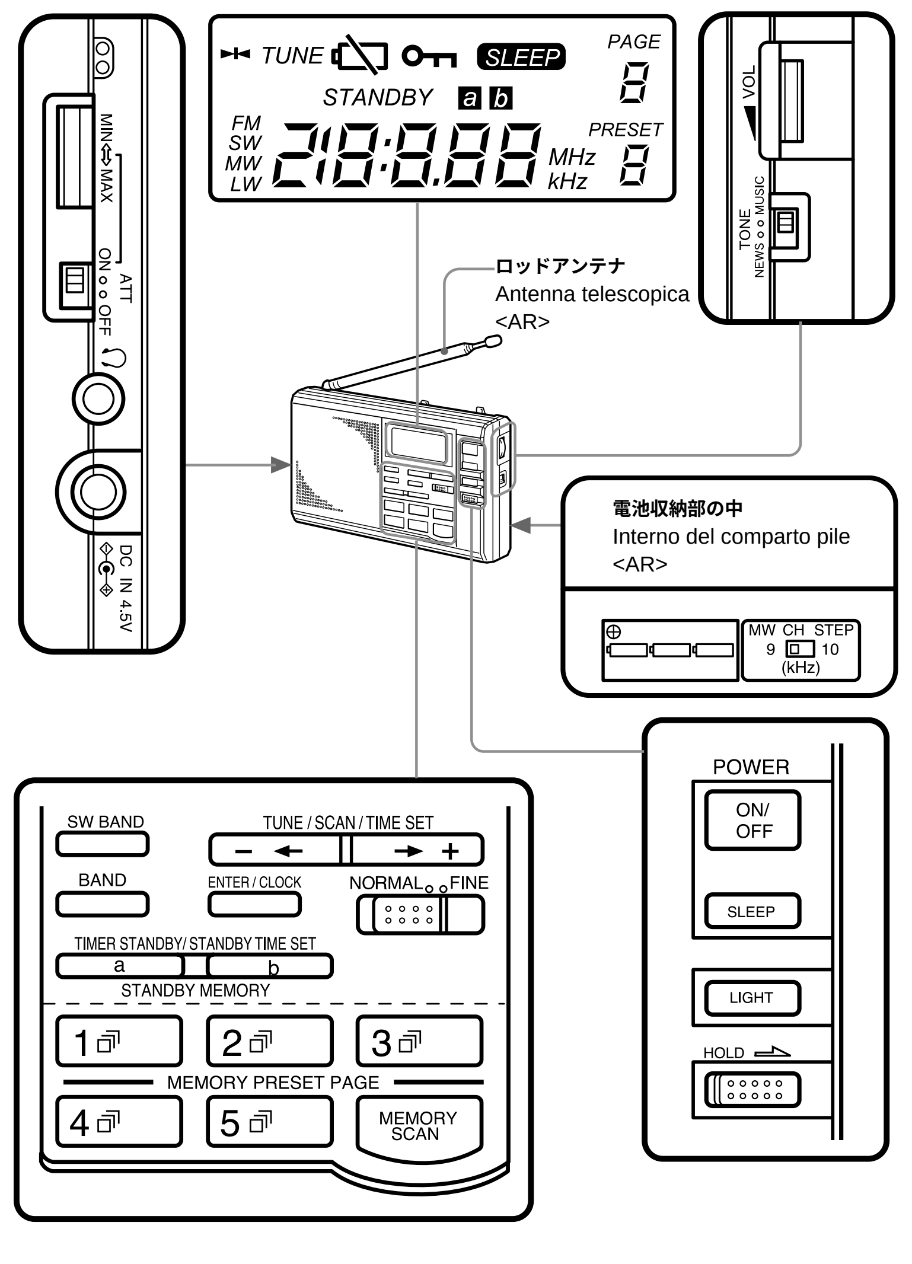
Il rivenditore Sony può non trattare tutti gli accessori opzionali sopra indicati. Chiedere al rivenditore informazioni dettagliate sugli accessori opzionali disponibili nel proprio paese.

Nota

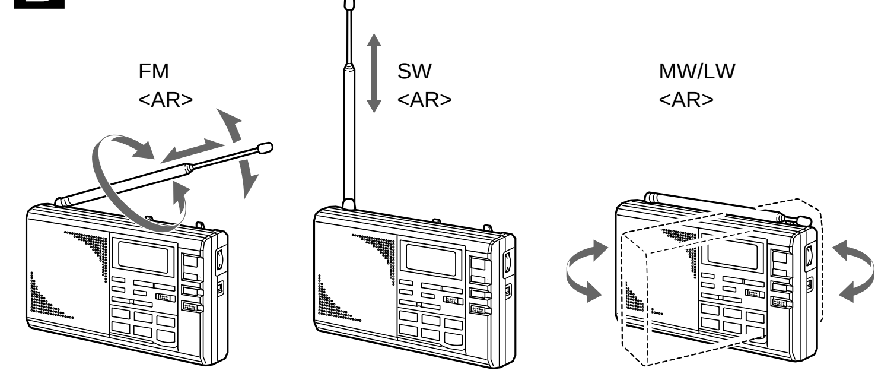
BANDE DI FREQUENZA
1. Bande di frequenza:
　FM:87,5-108,00 MHz
　OC:3 850-26 100 kHz
　OM:530-1 620 kHz
　OL:150-285 kHz
2. Frequenza intermedia:
　FM:10,7 MHz
　SW / MW / LW:10,7 MHz (prima)
　450 kHz (seconda)
3. Oscillatore locale:
　Frequenza oscillatore locale superiore a quella del segnale

[*1] di cui al par. 3 dell'Allegato A al D. M. 25 / 06 / 85 e al par. 3 dell'Allegato 1 al D. M. 27 / 08 / 87
[*2] Solo modelli per Italia, Arabia Saudita e Malesia
[*3] Solo modelli per Italia

<AR>



B



日本語

ラジオを聞く

海外でラジオを聞くときは、必要に応じてMW周波数ステップを切り換えてください。（「MW放送の周波数ステップ（間隔）を切り換えるには」参照。）

マニュアル選局

1. **ON/OFFボタンを押して、ラジオの電源を入れる。**
2. **BANDボタンを押して聞きたいバンドを選ぶ。**
   BANDボタンを押すたびに、次のようにバンドが切り換わります。
   →LW→MW→SW→FM
   LWになったところで「ピピッ」と音が出ます。（表示窓にはそれぞれのバンドで最後に受信した周波数が表示されます。）
3. **SWの場合、SW BANDボタンを押しながら、TUNE/SCAN/TIME SETボタンの−←または→＋を押して希望のメーターバンドを選ぶ。**
   メーターバンドについては、「オートスキャン選局」の表を参照してください。LW、MW、FMの場合は、次の手順4に進みます。
4. **−←または→＋を押して、聞きたい局に合わせる。**
   各バンドの最小周波数になると、「ピピッ」と音が出ます。放送を受信すると「▶◀TUNE」が表示されます。
5. **VOLつまみを回して音量を調節する。**

周波数ステップ（間隔）について

NORMAL/FINEスイッチを切り換えて、TUNE/SCAN/TIME SETボタンの−←または→＋を押したときの周波数ステップを切り換えることができます。

バンド	NORMAL	FINE
LW	9kHz	1kHz
MW	9kHz（または10kHz）*	1kHz
SW	5kHz	1kHz
FM	0.05MHz	0.05MHz

* MWの周波数ステップについては、「MW放送の周波数ステップを切り換えるには」を参照してください。
- NORMALのとき：−←または→＋を押し続けると、オートスキャン選局になります。（「オートスキャン選局」参照）
- FINEのとき：−←または→＋を押し続けると連続して進み、離すと止まります。

ラジオの電源を切るには

ON/OFFボタンを押します。

FMステレオ放送を楽しむには

ステレオイヤーレシーバー（別売り）を🎧（ヘッドホン）端子につないでお聞きください。FMステレオ放送を楽しむことができます。

ニュース番組などを聞くときは

TONE（音質）スイッチをNEWSにすると、人の声などが聞きやすくなります。音楽番組などを聞くときはMUSICに合わせます。

MW放送の周波数ステップ（間隔）を切り換えるには

日本をはじめ世界の大多数の国々が9kHzの周波数ステップで放送を行っていますが、アメリカ合衆国やカナダなど10kHzの周波数ステップで放送している地域もあります。お使いになるときは、その地域の周波数ステップに合わせてください。

地　域	周波数ステップ
北米、南米の国々	10kHz
その他の国々	9kHz

1. **ON/OFFボタンを押して、ラジオの電源を切る。**
2. **乾電池を取り出す。**
3. **電池収納部の中にあるMW CH STEP（中波周波数間隔）スイッチを希望の周波数に切り換える。**
4. **乾電池を入れ、ON/OFFボタンを押す。**

ご注意
- 手順2〜4は60秒以内に操作を完了してください。60秒以上たつと設定した時刻が消えてしまいます。
- 本機は内部スプリアス（ラジオ内部の発振器の信号を受信すること）により、10,250kHz、20,500kHz付近では受信しにくい場合があります。

オートスキャン選局

各バンド（SWではメーターバンド）の周波数範囲にある局を自動的に探し、放送を受信すると自動的に止まります。

1. **ON/OFFボタンを押して、ラジオの電源を入れる。**
2. **BANDボタンを押して、バンドを選ぶ。**
   SWの場合は、さらにメーターバンドを選びます。
3. **NORMAL/FINEスイッチをNORMALにする。**
4. **TUNE/SCAN/TIME SETボタンの−←または→＋を押し続け、周波数が変わり始めたら指を離す。**
   各バンドまたはメーターバンドの周波数範囲でスキャン選局が始まります。放送を受信すると、約3秒間止まります。
5. **希望の放送局が受信されたところで、もう一度−←または→＋を押してスキャンを止める。**
   −←または→＋を押して止めるまで、スキャン選局が続けられます。必要なら、−←または→＋を押して正確に周波数を合わせます。

- −←を押し続けてスキャンを開始すると周波数の降順に、→＋で開始すると昇順にスキャンします。
- スキャン方向を変えるには、逆方向の−←または→＋を2秒以上押してください。スキャンを再開してしまったあと、直前にスキャン停止していた局に戻りたい場合などに便利です。
- 電波の強い夜間のMW放送や混信が多いときは、スキャンで止まる周波数が多すぎることがあります。この場合はATTスイッチをONにして、ATTコントロールつまみで調節してください。（「スキャンストップを調節するには」参照）通常はOFFにして使います。

スキャンストップを調節するには

−ATTスイッチとATTコントロールつまみの使いかた
受信感度を調節することができます。
スキャン動作中、ひんぱんにスキャンストップが起きる場合や、混信が多いときなどにお使いください。通常はATTスイッチをOFF（受信感度が最大の状態）にしてお使いください。
ATTスイッチをONにすると、ATTコントロールつまみが有効になります。ATTコントロールつまみをMAXの方向に回すほど受信感度が低くなり、弱い信号は受信しないで、強い信号だけを受信するようになります。

ご注意
ATTコントロールつまみをMAXの方向に回しすぎると、弱い信号が受信できなくなります。ATTコントロールを使う必要がないときは、必ずATTスイッチをOFFにしてください。

各バンドの周波数範囲
（単位：LW,MW,SWはkHz、FMはMHz）

バンド	周波数範囲*1	オートスキャン範囲	メーターバンド
LW	150~285	153~279	
MW	530~1710*2	531~1710*4	
		530~1710*5	
	530~1620*3	531~1620*4	
		530~1620*5	
SW	2250~26100*6 3850~26100*7	2250~2550*6	120m
		3150~3450*6	90m
		3850~4050	75m
		4700~5100	60m
		5900~6250	49m
		7100~7400	41m
		9400~10000	31m
		11500~12150	25m
		13500~13900	22m
		15000~15900	19m
		17450~18000	16m
		18850~19100	15m
		21450~21950	13m
		25600~26100	11m
FM	76.00~108.00*2	76.00~108.00	
	87.50~108.00*3	87.50~108.00	

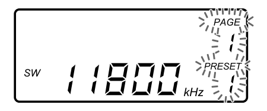
*1 LW、MWについては、NORMAL/FINEスイッチがNORMALの場合、オートスキャン範囲と同じになります。
*2 イタリア、サウジアラビア、マレーシア以外の国々
*3 イタリア、サウジアラビア、マレーシア
*4 周波数ステップが9kHzの場合
*5 周波数ステップが10kHzの場合
*6 イタリア以外の国々
*7 イタリアのみ

プリセット選局

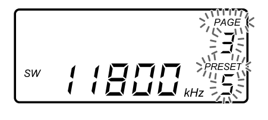
5つのMEMORY PRESET PAGEボタンごとに10局、合計50局の放送局をプリセットすることができます。
聞きたい局の周波数を一度プリセットしておけば、後はMEMORY PRESET PAGEボタンを押すだけで正確な受信ができます。
ページ番号は1〜5、プリセット番号は1〜0（10を示す）で表示されます。

プリセットするには

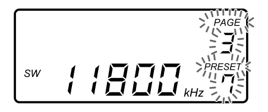
1. **「マニュアル選局」または「オートスキャン選局」で、希望の放送局を受信する。**
2. **ENTER/CLOCKボタンを「ピッ」と音がするまで押す。**
   初めてプリセットするとき、または50局すべてプリセットしてあるときは、ページ番号の1、プリセット番号の1が点滅します。その他のときは、次のような番号が点滅します。
   ページ番号：　プリセットされていない番号のあるページの中で最小の番号
   プリセット番号：そのページの中でプリセットされていない最小の番号



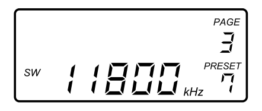
3. **プリセットしたいページ番号のMEMORY PRESET PAGEボタンを押す。**
   例：ページ番号3にプリセットする場合。



4. **手順3で選んだMEMORY PRESET PAGEボタンを押して、希望のプリセット番号を表示させる。**
   押すごとにプリセット番号が次のように切り換わります。
   →1→2→3→4→5→6→7→8→9→0
   プリセット番号が1に戻ると「ピピッ」と音がします。
   例：プリセット番号7を選んだ場合。



5. **ENTER/CLOCKボタンを「ピピッ」と音がするまで押す。**
   ページ番号とプリセット番号が点灯に変わります。



ご注意
ページ番号、プリセット番号が点滅中に、何の操作をしないまま約30秒たつと、元の状態に戻ります。

プリセットを変更するには

放送局を変更したいプリセット番号に、新しい放送局をプリセットし直します。前にプリセットされていた局は消えます。

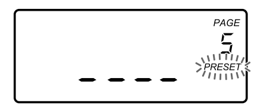
プリセットを途中で止めるには

ON/OFFボタンを押して、一度ラジオの電源を切ります。その後、再びON/OFFボタンを押して、ラジオの電源を入れると元の状態に戻ります。

プリセットした局を受信するには

1. **ON/OFFボタンを押して、ラジオの電源を入れる。**
2. **聞きたい局がプリセットされているMEMORY PRESET PAGEボタンをくり返し押して、聞きたい局のプリセット番号を表示させる。**
   プリセットされていない番号は飛ばします。プリセットされている番号の中で最小の番号を選ぶと、「ピピッ」と音がします。
3. **VOLつまみで音量を調節する。**

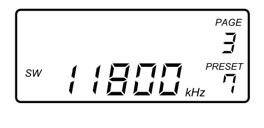
ご注意
選んだページ番号に何もプリセットされていないときは、「ピピッ」と音がして約3秒間、図のような表示になり元の状態に戻ります。



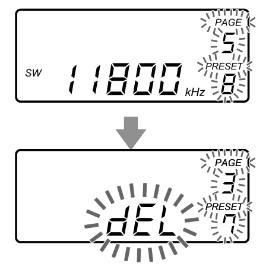
プリセットを消去するには

不要なプリセットを消去しておけば、そのプリセット番号は飛ばして選局しますので、より速くプリセット選局できます。

1. **ON/OFFボタンを押して、ラジオの電源を入れる。**
2. **MEMORY PRESET PAGEボタンをくり返し押して、消去したい放送局のプリセット番号を表示させる。**



3. **ENTER/CLOCKボタンを押し続け、「dEL」が点滅表示されたら指を離す。**
   ENTER/CLOCKボタンを押し続けると、ページ番号、プリセット番号が点滅し、プリセットする状態になりますが、さらに押し続けると「dEL」が表示されます。



4. **もう一度ENTER/CLOCKボタンを「ピピッ」と音がするまで押す。**
   ページ番号、プリセット番号が消えます。

ご注意
ページ番号、プリセット番号や「dEL」が点滅しているとき、何の操作もしないまま約30秒たつと元の状態に戻ります。

プリセットの消去を途中で止めたいときは

ON/OFFボタンを押して、一度ラジオの電源を切ります。その後、再びON/OFFボタンを押して、ラジオの電源を入れると元の状態に戻ります。

メモリースキャン選局

一つのページにプリセットされている局を順次スキャンすることができます。

1. **ON/OFFボタンを押して、ラジオの電源を入れる。**
2. **希望のMEMORY PRESET PAGEボタンを押す。**
3. **MEMORY SCANボタンを押す。**
   選択したページにプリセットしてある放送局を順次スキャンして、受信すると止まります。他の放送局を選択したいときは、もう一度MEMORY SCANボタンを押します。記憶されていないプリセット番号は飛ばします。

- プリセット番号の順に対応して、周波数を順にプリセットしておくとより速くスキャンすることができます。

メモリースキャンを途中で止めるには

メモリースキャン中にMEMORY SCANボタンを押します。

放送を受信できないとき

順次スキャンして何も放送を受信できなかったときは、スキャンを開始したプリセット番号に戻ったところで「ピピッ」と音がして止まります。

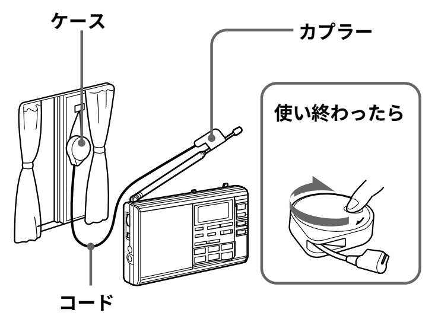
- 電波の強い夜間や混信が多いときは、スキャンで止まる周波数が多すぎることがあります。この場合はATTスイッチをONにして、ATTコントロールつまみで調節してください（「オートスキャン選局」–スキャンストップを調整するには–参照）。通常はOFFにして使います。

受信状態をよくするには（図B）

アンテナを調節する
FM放送：ロッドアンテナを伸ばして向きや角度を調節します。
SW放送：ロッドアンテナをいっぱいに伸ばし、垂直に立てます。
MW、LW放送：アンテナを内蔵しているため、ラジオの向きによって受信状態が変わります。最も良く受信できる方向にしてお聞きください。

付属のSW用コンパクトアンテナを使う
通常はロッドアンテナでSW放送を楽しむことができますが、鉄筋のビルの中などで受信状態が良くない場合は、付属のSW用コンパクトアンテナをお使いください。

1. **コードをケースから完全に引き出す。**
2. **カプラーをロッドアンテナにはめる。**
3. **部屋の窓が開く場合：**
   危険がないことを確かめてから、コードをケースごと窓の外に出し下に落ちないようにしっかり固定します。
   窓が開かない場合：
   コードを窓の幅いっぱいに張ります。


ケース
カプラー
使い終わったら
コード

別売りの外部アンテナを使う
別売りのワイドレンジアンテナAN-1、AN-102またはSW用アクティブアンテナAN-LP1をお使いください。詳しくは各々に付属の取扱説明書をご覧ください。

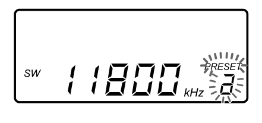
ご注意
- 室内の蛍光灯やテレビ、電話、パソコンなどが雑音の原因となることがありますので、本機やアンテナからなるべく離してお使いください。
- 外部アンテナでお使いになるときは、本機のロッドアンテナはたたんでおいてください。
- 外部アンテナはなるべく道路から離れたところに設置してください。
- SW用アクティブアンテナAN-LP1は、アンテナコントローラーで周波数選択をする必要があるため、AN-LP1を接続した状態で本機のメモリースキャン機能を働かせた場合、AN-LP1の性能が充分発揮できないことがありますので、ご了承ください。

ラジオで目覚める

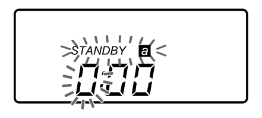
スタンバイ機能

ラジオ番組を目覚まし代わりにすることができます。
- 本機の時計を合わせてから操作してください。
- STANDBY MEMORYボタンa、bに別々の放送局と時刻を予約することができます。
- ラジオが鳴り始めたときの音量をあらかじめVOLつまみで調節しておきます。

1. **希望の放送局を受信する。**
2. **ENTER/CLOCKボタンを「ピッ」と音がするまで押す。**
   ページ番号、プリセット番号が点滅します。
3. **STANDBY MEMORYボタンaまたはbを押す。**
   例：STANDBY MEMORY「a」に設定する場合
   「PRESET」、「a」が点滅します。



4. **ENTER/CLOCKボタンを「ピピッ」と音がするまで押す。**
   「PRESET」、「a」または「b」が点灯に変わります。
5. **ON/OFFボタンを押して、ラジオの電源を切る。**
6. **STANDBY MEMORYボタンaまたはbを「ピッ」と音がするまで押す。**
   例：STANDBY MEMORY「a」に設定する場合
   時刻設定の表示になり、「STANDBY」、「a」および「時」が点滅します。



7. **TUNE/SCAN/TIME SETボタンの−←または→＋を押して、「時」を合わせる。**
8. **手順6で選んだSTANDBY MEMORYボタンaまたはbを「ピッ」と音がするまで押す。**
   「時」が設定され、「分」が点滅します。
9. **−←または→＋を押して、「分」を合わせる。**
10. **手順6で選んだSTANDBY MEMORYボタンaまたはbを「ピピッ」と音がするまで押す。**
    「分」が設定され、「STANDBY」、「a」または「b」が点灯に変わります。

予約した時刻になると

放送を受信し「SLEEP」が点灯します。約60分後に自動的に電源が切れます。

スタンバイa、bの両方に予約したときは

一方の予約でラジオが鳴っているときに、もう一方の予約が働いた場合、あとで予約した放送局の受信に切り換わります。
スタンバイaとbに同時刻を予約したときは、スタンバイaが働きます。

予約を解除するには

電源を切った状態でSTANDBY MEMORYボタンaまたはbを押して、「STANDBY」、「a」または「b」の表示を消します。このとき、STANDBY MEMORYボタンaまたはbは1秒以内に離してください。長く押し続けると、スタンバイ時刻設定の状態になります。

予約を一時的に解除するには

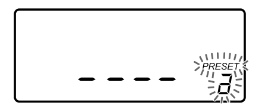
ラジオの電源が入っていないときに、HOLDスイッチを矢印の方向に動かし、「⊶」を表示させます。「⊶」表示を消すと予約は復帰します。（「便利な機能」参照）

ご注意
- 一度設定した予約はSTANDBY MEMORYボタンaまたはbを押して解除しない限り、毎日働きます。
- ラジオを聞いているときに予約した時刻になると、自動的に予約した放送局の受信に切り換わります。

アラーム機能

予約した時刻に、ラジオの代わりにアラーム音を鳴らすことができます。
STANDBY MEMORYボタンaまたはbに放送局がプリセットされていない場合、予約時刻になるとアラームが鳴ります。放送局がプリセットされている場合は消去してください。

1. **ON/OFFボタンを押して、ラジオの電源を入れる。**
2. **STANDBY MEMORYボタンaまたはbを押す。**
   プリセットされている放送局を受信します。プリセットされていない場合、「ピピッ」と音がして約3秒間、次のような表示になり元の状態に戻ります。この場合は手順5に進んでください。



3. **ENTER/CLOCKボタンを押し続け、「dEL」が点滅表示されたら指を離す。**
4. **もう一度、ENTER/CLOCKボタンを「ピピッ」と音がするまで押す。**
   「PRESET」、「a」または「b」、「dEL」の点滅表示が消えます。
   （「プリセット選局」−プリセットを消去するには−参照）
5. **スタンバイ機能の手順5から10の操作をする。**
   予約した時刻になると、アラーム音が鳴り、約60分後に自動的に止まります。

途中でアラーム音を止めるには

LIGHT以外のボタンを押します。

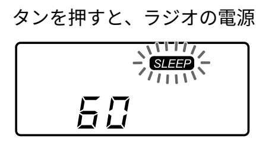
ご注意
- アラームの音量を調節することはできません。
- ラジオを聞いているときに予約した時刻になると、ラジオが切れて時計表示になり、アラームが鳴ります。

ラジオを聞きながら眠る

スリープ機能

ラジオを聞きながら、おやすみになれます。設定した時間（60、45、30、または15分）が経過すると自動的に電源が切れます。

1. **SLEEPボタンを押す。**
   スリープタイマーの動作時間「60」が表示され、「SLEEP」が点滅します。
   ラジオの電源が切れているときにSLEEPボタンを押すと、ラジオの電源が入ります。



2. **「SLEEP」が点滅している間に、SLEEPボタンをくり返し押して希望の時間を表示させる。**
   押すごとに次のように切り換わります。
   →60→45→30→15
   60に戻ると「ピピッ」と音がします。時間を設定したあと、約3秒たつと「SLEEP」が点灯に変わり、動作時間表示が周波数表示になって、スリープタイマーがスタートします。
3. **聞きたい放送局を選び、音量を調節する。**
   設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。

自動的に切れる前にラジオを止めるには

ON/OFFボタンを押します。

ラジオを聞く時間を延長したいときは

もう一度、SLEEPボタンを押して時間を設定してください。

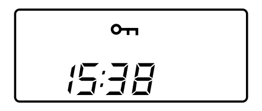
便利な機能

誤操作を防ぐ−ホールド機能

ホールド機能を働かせると、ボタン操作を受け付けなくなり、持ち運ぶときなどに、誤って電源が入ったり、ラジオを聞いているときの誤操作を防ぐことができます。
またラジオの電源が切れているときにホールド機能を働かせると、スタンバイ機能が一時的に解除されます。

ホールド機能を使うときは

HOLDスイッチを矢印の方向にずらします。「⊶」が表示され、それ以降のボタン操作を受け付けなくなります。



ホールドを解除するには

HOLDスイッチを矢印と反対の方向にずらし「⊶」表示を消します。

表示窓の照明をつける

LIGHTボタンを押します。表示窓が約20~30秒間照明されます。

Italiano

Uso della radio

Prima di usare la radio, tenere conto di dove ci si trova. In alcuni paesi, è necessario cambiare il passo di canale MW. (Per dettagli, vedere "Cambiamento del passo di canale MW".)

Sintonia manuale

1. Premere ON / OFF per accendere la radio.
2. Premere BAND per selezionare la banda. A ciascuna pressione la visualizzazione cambia come segue:
   →LW→MW→SW→FM
   Si sente un doppio segnale acustico quando si seleziona LW. (L'ultima frequenza selezionata per ciascuna banda appare sul display.)
3. Se si è selezionato SW: premere – ← o → + sotto TUNE / SCAN / TIME SET tenendo premuto SW BAND per selezionare una banda in metri. Vedere "Sintonia a scorrimento" per dettagli sulla banda in metri.
   Se si è selezionato LW, MW o FM, passare al punto 4.
4. Sintonizzare la stazione desiderata premendo – ← o → +.
   Si sente un doppio segnale acustico quando viene ricevuta la frequenza più bassa di ciascuna banda durante la sintonizzazione. Quando viene ricevuta una trasmissione, "▶◀ TUNE" appare sul display.
5. Girare VOL (volume) per regolare il volume.

Passo di frequenza

Il passo di frequenza usato quando si preme – ← o → + sotto TUNE / SCAN / TIME SET può essere cambiato con NORMAL / FINE.

Band	NORMAL	FINE
LW	9 kHz	1 kHz
MW	9 kHz / 10 kHz*	1 kHz
SW	5 kHz	1 kHz
FM	0,05 MHz	0,05 MHz

* Vedere "Cambiamento del passo di canale MW" per dettagli sul passo di canale MW.
- La sintonia a scorrimento inizia quando si tiene premuto – ← o → + mentre è selezionato NORMAL. (Vedere "Sintonia a scorrimento".)
- La frequenza cambia rapidamente se si tiene premuto – ← o → + mentre è selezionato FINE. Quando si rilascia – ← o → +, la frequenza cessa di cambiare.

Per spegnere la radio

Premere ON / OFF.

Per ascoltare trasmissioni FM stereo

Collegare cuffie stereo (non in dotazione) alla presa 🎧 (cuffie).

Quando si ascoltano notiziari

Regolare il selettore TONE su NEWS per risultati ottimali. L'emissione vocale è più nitida e chiara. Quando si ascolta la musica, regolare il selettore TONE su MUSIC per risultati ottimali.

Cambiamento del passo di canale MW

Il passo di canale di frequenza di questa radio nella banda MW è impostato su 9 kHz / 10 kHz prima che la radio esca dalla fabbrica. L'impostazione iniziale dipende dal paese di vendita dell'apparecchio. Cam, biare il passo di canale MW quando si ascolta in paesi di queste regioni.

Area	Passo di canale
America del Nord / Sud	10 kHz
Altri paesi	9 kHz

1. Premere ON / OFF per spegnere la radio.
2. Estrarre le pile dall'apparecchio.
3. Cambiare la posizione di MW CH STEP nel comparto pile sul passo di canale desiderato.
4. Inserire le pile e premere ON / OFF.

Note
- Completare l'esecuzione dei punti da 2 a 4 entro 60 secondi. Se non si eseguono le operazioni in 60 secondi, l'impostazione dell'orologio viene cancellata.
- La ricezione di frequenze intorno a 10250 kHz e 20500 kHz può essere difficile a causa di segnali interni spuri generati dagli oscillatori incorporati.

Sintonia a scorrimento

Usare la sintonia a scorrimento per scorrere automaticamente le stazioni del campo di frequenza di una banda di trasmissione.

1. Premere ON / OFF per accendere la radio.
2. Premere BAND per selezionare la banda.
   Se si è selezionato SW, selezionare anche la banda in metri.
3. Regolare NORMAL / FINE su NORMAL.
4. Tenere premuto – ← o → + sotto TUNE / SCAN / TIME SET. Rilasciare il tasto quando l'indicazione della frequenza inizia a cambiare.
   La sintonia a scorrimento inizia all'interno della tabella di campo di frequenza riportata in "Campo di frequenza" e pausa automaticamente per tre secondi circa quando viene ricevuta una stazione.
5. Quando la radio sintonizza la stazione desiderata, premere di nuovo – ← o → + per fermare lo scorrimento.
   Se non si preme – ← o → +, lo scorrimento continua. Se necessario, sintonizzare la stazione più precisamente usando – ← e → +.

- L'apparecchio scorre le frequenze in ordine discendente quando si tiene premuto – ← per due secondi o più e in ordine ascendente quando si tiene premuto → + per due secondi o più.
- Per cambiare la direzione di scorrimento, tenere premuto – ← o → +, quello opposto alla direzione di scorrimento attuale, per due secondi o più. Questo è comodo ad esempio quando si desidera tornare indietro ad una stazione ricevuta precedente dopo che l'apparecchio ha ripreso lo scorrimento.
- Quando si scorrono trasmissioni MW di notte quando la ricezione è intensa o quando si esegue lo scorrimento in condizioni di numerose interferenze, lo scorrimento si ferma spesso. In questo caso, regolare l'interruttore ATT su ON e regolare la sensibilità con il comando ATT (vedere "Controllo delle pause di scorrimento", di seguito). In condizioni normali, lasciare l'interruttore ATT su OFF.

Controllo delle pause di scorrimento – Uso dell'interruttore ATT e del comando ATT

Usare l'interruttore ATT (attenuatore) e il comando ATT per controllare la sensibilità di ricezione quando lo scorrimento si ferma spesso o quando si esegue lo scorrimento in condizioni di numerose interferenze. In condizioni normali regolare l'interruttore ATT su OFF (cioè, con la massima sensibilità).
Il comando ATT è attivato quando l'interruttore ATT è regolato su ON. Girare il comando ATT verso MAX per ridurre la sensibilità. La radio salta i segnali deboli e si ferma solo per quelli forti.

Nota
Se il comando ATT viene girato eccessivamente verso MAX, la radio non si ferma per alcun segnale debole. Regolare l'interruttore ATT su OFF se non è necessario usare l'attenuatore.

Campo di frequenza (LW, MW, SW: kHz, FM: MHz)

Banda	Campo di frequenza*1	Gamma della sintonia a scorrimento	Banda in metri
LW	150-285	153-279	
MW	530-1710*2	531-1710*4	
		530-1710*5	
	530-1620*3	531-1620*4	
		530-1620*5	
SW	2250-26100*6 3850-26100*7	2250-2550*6	120 m
		3150-3450*6	90 m
		3850-4050	75 m
		4700-5100	60 m
		5900-6250	49 m
		7100-7400	41 m
		9400-10000	31 m
		11500-12150	25 m
		13500-13900	22 m
		15000-15900	19 m
		17450-18000	16 m
		18850-19100	15 m
		21450-21950	13 m
		25600-26100	11 m
FM	76,00-108,00*2	76,00-108,00	
	87,50-108,00*3	87,50-108,00	

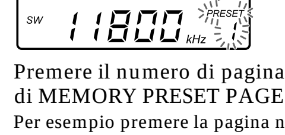
*1 I campi di frequenza LW e MW sono uguali alla gamma della sintonia a scorrimento quando NORMAL / FINE è regolato su NORMAL.
*2 Paesi tranne Italia, Arabia Saudita e Malesia
*3 Italia, Arabia Saudita e Malesia
*4 Passo di canale di 9 kHz
*5 Passo di canale di 10 kHz
*6 Paesi tranne l'Italia
*7 Solo l'Italia

Sintonia preselezionata

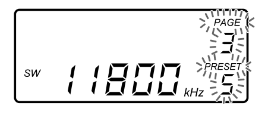
Si possono preselezionare fino a 10 stazioni per ciascuna PRESET MEMORY PAGE (50 stazioni in totale).
Un volta prelezionata una stazione in memoria, è possibile ricevere la trasmissione semplicemente premeno MEMORY PRESET PAGE.
Il numero di pagina è visualizzato come 1-5, il numero di preselezione è visualizzato come 1-0. (0 indica 10.)

Per preselezionare le stazioni

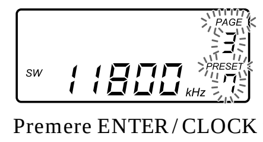
1. Sintonizzare la stazione che si desidera preselezionare.
   Fare riferimento a "Sintonia manuale" o "Sintonia a scorrimento" per maggiori dettagli.
2. Tenere premuto ENTER / CLOCK fino a sentire un segnale acustico.
   Il numero di pagina 1 e il numero di preselezione 1 lampeggiano quando si preseleziona una stazione per la prima volta o quando si sono prelezionate 50 stazioni. Negli altri casi, il numero lampeggia come segue.
   Numero di pagina:
   il numero di pagina più piccolo tra le pagine che hanno numeri di preselezione liberi
   Numero di preselezione:
   il numero di preselezione più piccolo che non è stato preselezionato nella pagina indicata sopra



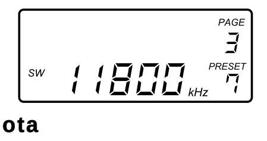
3. Premere il numero di pagina desiderato di MEMORY PRESET PAGE.
   Per esempio premere la pagina numero 3. La visualizzazione cambia come mostrato sotto.



4. Premere ripetutamente il numero sotto la MEMORY PRESET PAGE selezionata per visualizzare il numero di preselezione desiderato.
   Il numero di preselezione cambia come segue:
   →1→2→3→4→5→6→7→8→9→0
   Si sente un doppio segnale acustico quando la visualizzazione torna a "1".
   Per esempio, selezionare il numero di preselezione 7. La visualizzazione cambia come mostrato sotto.



5. Premere ENTER / CLOCK fino a sentire un doppio segnale acustico.
   Il numero di pagina e il numero di preselezione cessano di lampeggiare.



Nota
Se non si esegue alcuna operazione per 30 secondi mentre il numero di pagina e il numero di preselezione lampeggiano, l'apparecchio ritorna al modo precedente.

Per cambiare la stazione preselezionata

Usare lo stesso procedimento per memorizzare un'altra stazione sul numero di preselezione selezionato. La stazione preselezionata precedente viene sostituita dalla nuova stazione preselezionata.

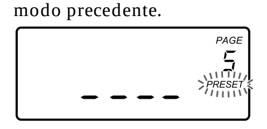
Per interrompere e annullare la preselezione

Premere ON / OFF per spegnere la radio e quindi premerlo di nuovo per riaccendere.
L'apparecchio ritorna al modo precedente.

Sintonia di una stazione preselezionata

1. Premere ON / OFF per accendere la radio.
2. Premere ripetutamente MEMORY PRESET PAGE per visualizzare il numero di preselezione desiderato. I numeri che non sono stati preselezionati non possono essere visualizzati. Si sente un doppio segnale acustico quando si seleziona il numero di preselezione più piccolo.
3. Girare VOL (volume) per regolare il volume.

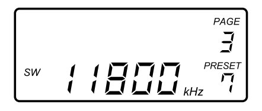
Nota
Si sente un doppio segnale acustico e la visualizzazione cambia come mostrato sotto per circa tre secondi quando si seleziona un numero di pagina per cui non esistono stazioni preselezionate e quindi l'apparecchio ritorna al modo precedente.



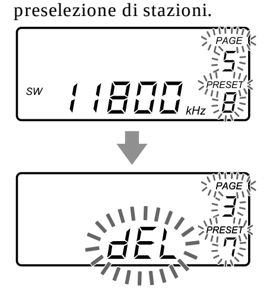
Cancellazione di una stazione preselezionata

La sintonia preselezionata agisce più rapidamente se si cancellano le stazioni preselezionate non necessarie perché le stazioni preselezionate cancellate non sono selezionate durante la sintonia.

1. Premere ON / OFF per accendere la radio.
2. Premere ripetutamente MEMORY PRESET PAGE per visualizzare il numero di preselezione che si vuole cancellare.



3. Tenere premuto ENTER / CLOCK fino a che "dEL" lampeggia.
   "dEL" lampeggia sul display se si continua a tenere premuto ENTER / CLOCK mentre il numero di pagina e il numero di preselezione lampeggiano. Mentre questi numeri lampeggiano, la radio è in attesa per la preselezione di stazioni.



4. Premere di nuovo ENTER / CLOCK fino a sentire un doppio segnale acustico.
   Il numero di pagina e il numero di preselezione scompaiono dal display.

Nota
Se non si esegue alcuna operazione per 30 secondi mentre il numero di pagina, il numero di preselezione e "dEL" lampeggiano, l'apparecchio ritorna al modo precedente.

Per interrompere e annullare la cancellazione

Premere ON / OFF per spegnere la radio e quindi premerlo di nuovo per riaccendere.
L'apparecchio ritorna al modo precedente.

Sintonia a scorrimento memoria

Usare la sintonia a scorrimento memoria per scorrere automaticamente le stazioni preselezionate in una pagina.

1. Premere ON / OFF per accendere la radio.
2. Premere il numero di pagina della MEMORY PRESET PAGE che si desidera scorrere.
3. Premere MEMORY SCAN.
   Lo scorrimento cessa quando la radio riceve una stazione preselezionata della pagina. Se si desidera selezionare altre stazioni preselezionate, premere di nuovo MEMORY SCAN. I numeri di preselezione non preselezionati sono saltati.

- La ricerca procede più rapidamente se si sono preselezionate le frequenze nell'ordine ascendente o discendente dei numeri di preselezione.

Per interrompere ed annullare la sintonia a scorrimento memoria

Premere MEMORY SCAN durante la sintonia a scorrimento memoria.

Se non è possibile ricovere stazioni preselezionate con la sintonia a scorrimento memoria

Si sente un doppio segnale acustico e lo scorrimento si ferma quando la ricerca torna al primo numero di preselezione cercato.
Per esempio: quando si scorre pagina 1 che ha stazioni preselezionate sui numeri di preselezione 2, 4, 6 e 8 e si inizia la ricerca dal numero di preselezione 6, si sente un doppio segnale acustico quando la ricerca torna a 6.

- Quando si scorrono trasmissioni MW di notte quando la ricezione è intensa o quando si esegue lo scorrimento in condizioni di numerose interferenze, lo scorrimento si ferma spesso. In questo caso, regolare l'interruttore ATT su ON e regolare la sensibilità con il comando ATT (vedere "Controllo delle pause di scorrimento"). In condizioni normali, usare la radio con l'interruttore ATT regolato su OFF.

Per migliorare la ricezione (vedere la fig. B)

Regolazione dell'antenna

FM: Estendere l'antenna telescopica e regolarne la direzione e l'angolazione per ottenere la ricezione migliore.
SW: Estendere l'antenna telescopica per tutta la sua lunghezza e tenerla in posizione verticale.
MW, LW: Girare orizzontalmente l'apparecchio per ottenere una ricezione ottimale. Un'antenna a barra di ferrite è incorporata nell'apparecchio.

Uso di un'antenna esterna

Usare l'antenna a gamma ampia AN-1, AN-102 o l'antenna SW attiva AN-LP1 (non in dotazione). Per dettagli fare riferimento alle istruzioni per l'uso di ciascuna antenna.

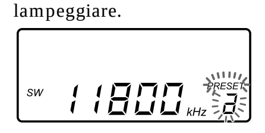
Note
- Tenere l'apparecchio e l'antenna lontani da lampade fluorescenti, televisori, computer e altri apparecchi che possono generare disturbi.
- Ritrarre l'antenna telescopica quando si usa un'antenna esterna.
- Collocare l'antenna esterna il più lontano possibile dalla strada.
- Notare che l'antenna SW attiva AN-LP1 può non funzionare normalmente quando è collegata a questa radio e si usa la sintonia a scorrimento memoria. Questo è perché l'AN-LP1 seleziona le frequenze tramite il controllore antenna.

Impostazione dell'attesa

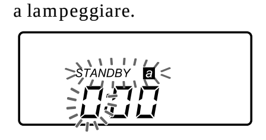
Funzione di attesa

Si può accendere la radio e sintonizzare la stazione radio preferita all'ora desiderata.
- Prima di impostare l'attesa, assicurarsi che l'orologio della radio sia impostato correttamente.
- È possibile memorizzare due orari di attesa come STANDBY MEMORY a e b.
- Prima di impostare l'ora di attesa regolare VOL (volume) per impostare il volume con cui la radio dovirà accendersi.

1. Ricevere la stazione emittente desiderata.
2. Premere ENTER / CLOCK fino a sentire un segnale acustico.
   Il numero di pagina e il numero di preselezione iniziano a lampeggiare.
3. Premere STANDBY MEMORY a o b.
   Per esempio, quando si preme STANDBY MEMORY a, "PRESET" e "a" iniziano a lampeggiare.



4. Premere ENTER / CLOCK fino a sentire un doppio segnale acustico.
   "PRESET" e "a" o "b"si illuminano.
5. Premere ON / OFF per spegnere la radio.
6. Premere STANDBY MEMORY a o b fino a sentire un segnale acustico.
   Per esempio, quando si preme STANDBY MEMORY a: la visualizzazione torna all'indicazione di impostazione dell'orologio, "STANDBY", "a" e la cifra delle ore iniziano a lampeggiare.



7. Premere – ← o → + sotto TUNE / SCAN / TIME SET per impostare l'ora.
8. Premere STANDBY MEMORY a o b selezionato al punto 6 fino a sentire un segnale acustico.
   L'ora è impostata e i minuti iniziano a lampeggiare.
9. Premere – ← o → + per impostare i minuti.
10. Premere STANDBY MEMORY a o b selezionato al punto 6 fino a sentire un doppio segnale acustico.
    I minuti sono impostati e "STANDBY" e "a" o "b" si illuminano.

Quando viene raggiunto l'orario di attesa

La radio si accende e appare "SLEEP".
L'apparecchio si spegne automaticamente dopo 60 minuti circa.

Quando si è impostato STANDBY MEMORY a e b

Se il secondo orario di attesa prefissato viene raggiunto durante il funzionamento del primo orario di attesa, l'orario di attesa più recente ha la precedenza sull'altro e la radio sintonizza la stazione appropriata. Se si sono impostati STANDBY MEMORY a e b sullo stesso orario, STANDBY MEMORY a ha la precedenza.

Per disattivare la funzione di attesa

Premere STANDBY MEMORY a o b a radio spenta in modo che "STANDBY" e "a" o "b" scompaiano dal display.
Assicurarsi di rilasciare il tasto entro un secondo. Se si continua a tenere premuto il tasto, la radio passa al modo di impostazione attesa.

Per disattivare temporaneamente la funzione di attesa

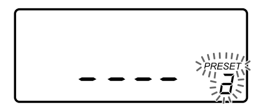
Spostare HOLD in direzione della freccia a radio spenta per far apparire "⊶". Quando si disattiva il blocco e "⊶" scompare, la funzione di attesa è nuovamente abilitata. (Vedere "Uso di altre funzioni".)

Note
- Una volta impostato un orario di attesa, la radio si accende all'orario fissato ogni giorno a meno che l'impostazione di attesa sia annullata.
- La funzione di attesa si attiva anche durante l'ascolto di altre stazioni.

Uso della suoneria

Per attivare la suoneria invece della radio all'ora desiderata, cancellare la stazione assegnata a STANDBY MEMORY a o b come necessario.

1. Premere ON / OFF per accendere la radio.
2. Premere STANDBY MEMORY a o b.
   La radio riceve la stazione preselezionata. Se non esiste una stazione preselezionata, si sente un doppio segnale acustico e la visualizzazione cambia come mostrato sotto. In questo caso eseguire il punto 5.



3. Tenere premuto ENTER / CLOCK fino a che "dEL" lampeggia.
4. Premere di nuovo ENTER / CLOCK fino a sentire un doppio segnale acustico.
   L'indicazione "PRESET" e "a" o "b" scompaiono. (Vedere "Sintonia preselezionata – Cancellazione di una stazione preselezionata".)
5. Eseguire i punti da 5 a 10 del procedimento descritto in "Impostazione dell'attesa".
   Quando viene raggiunto l'orario di attesa e la funzione si attiva, suona la suoneria. L'apparecchio si spegne automaticamente dopo 60 minuti.

Per fermare la suoneria

Premere un tasto qualsiasi tranne LIGHT.

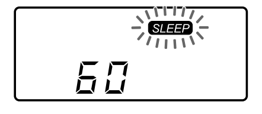
Note
- Il volume della suoneria non è regolabile.
- Se l'orario di attesa viene raggiunto mentre si ascolta la radio, la radio si spegne e la suoneria suona.

Impostazione del timer di spegnimento ritardato

Funzione di timer di spegnimento ritardato

È possibile addormentarsi al suono della radio usando il timer di spegnimento ritardato. La radio si spegne automaticamente dopo che è trascorso il tempo impostato per il timer di spegnimento ritardato (60, 45, 30 o 15 minuti).

1. Premere SLEEP.
   Appare l'impostazione di timer di spegnimento ritardato di "60" minuti e "SLEEP" lampeggia.
   La radio si accende se era spenta.



2. Premere ripetutamente SLEEP per selezionare l'impostazione di timer di spegnimento ritardato desiderata mentre "SLEEP" lampeggia.
   A ciascuna pressione l'indicazione cambia come segue:
   →60→45→30→15
   Si sente un doppio segnale acustico quando l'indicazione torna a "60". "SLEEP" si illumina tre secondi dopo che che è stata selezionata l'impostazione del timer di spegnimento ritardato mentre "SLEEP" lampeggia. Dopo che è scomparsa l'indicazione del timer di spegnimento ritardato ed è apparsa l'indicazione della frequenza, il timer di spegnimento ritardato si attiva.
3. Sintonizzare la stazione desiderata e regolare VOL (volume).
   La radio si spegne automaticamente dopo che è trascorso il tempo impostato per il timer di spegnimento ritardato.

Per spegnere la radio prima che sia trascorso il tempo impostato per il timer di spegnimento ritardato

Premere ON / OFF.

Per ripristinare o estendere il tempo impostato per il timer di spegnimento ritardato

Premere di nuovo SLEEP e selezionare l'impostazione desiderata per il timer di spegnimento ritardato.

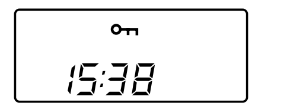
Uso di altre funzioni

Funzione di blocco

Quando si usa la funzione di blocco, i tasti non funzionano. Usare la funzione di blocco per evitare attivazioni accidentali.
La funzione di blocco può essere usata anche per disattivare temporaneamente la funzione di attesa.

Per usare la funzione di blocco

Spostare HOLD in direzione della freccia. "⊶" appare sul display e tutti i tasti non funzionano più.



Per disattivare la funzione di blocco

Spostare HOLD in direzione opposta alla freccia. "⊶" scompare dal display.

Funzione di illuminazione

Premere LIGHT per accendere la luce per circa da 20 a 30 secondi quando si vuole vedere il display al buio.